

## 6. Secretory meningioma の1例

坐間 朗\*, 渡辺 克成\*, 今井 英明\*, 笹口 修男\*  
 早瀬 宣昭\*, 小野 伸夫\*, 中村 正\*, 田村 勝\*  
 大江 千廣\*, 平戸 純子\*\*  
 \* 群馬大学医学部脳神経外科  
 \*\* 同 第一病理

症例: 60歳, 女性. 主訴: 丸い虹が見えるような発作.  
 既往歴: 1988年1月甲状腺の benign adenoma の摘出術. 現病歴: 1992年6月丸い虹が見える発作が始まり, 同年8月12日当科受診. 意識は清明, 神経脱落症状なし. 頭部 CT では右後頭葉の浮腫あり, 右後頭葉底部に径 1.5 cm の境界明瞭な enhanced mass がある. MRI では上記の mass は T1 強調で low intensity で, ガドリニウムで著明に enhance され, 小脳テント上面に付着する. 同年9月10日, 右後頭開頭で, 小脳テントから起こり上方に突出し血管に富む腫瘍を摘出した. 脳表のくも膜とは線維性癒着が見られた. 術後, 丸い虹が見える発作は減少しつつある.

病理組織所見: HE 染色では短紡錐形ないし楕円形の核と境界不鮮明な胞体をもつ細胞が束状に増殖している. 胞体内に好酸性顆粒状の類円形封入体をもつ細胞が多数認められる. 間質には血管がよく発達している. 封入体は PAS 染色陽性であった. 免疫組織化学的検索では, 封入体とこれを有する腫瘍細胞は Keratin AE1/AE3,

Epithelial Membrane Antigen, 及び Carcinoembryonic Antigen 陽性, IgM は一部陽性. Vimentin は封入体を有さない腫瘍細胞で陽性. S-100, alpha-1-antitrypsin はいずれの細胞でも陰性であった.

電子顕微鏡所見: 封入体は腫瘍細胞の細胞質にみられる microcyst 内に形成されており, 一部に electron dense granule を含み, cyst の内壁には microvilli が観察される. 細胞質内には tonofilament が散見され, 一部に desmosome 様の接着装置が見られるが, interdigitation の形成は不十分である.

考案: 以上より secretory meningioma (meningioma with hyaline inclusions) と考えた. 封入体を有する腫瘍細胞の epithelial differentiation と secretion が示唆された.

### 〔質 問〕

発地雅夫 (信大第二病理) 封入体 (hyaline inclusion body) の割合がどの程度以上であれば secretory

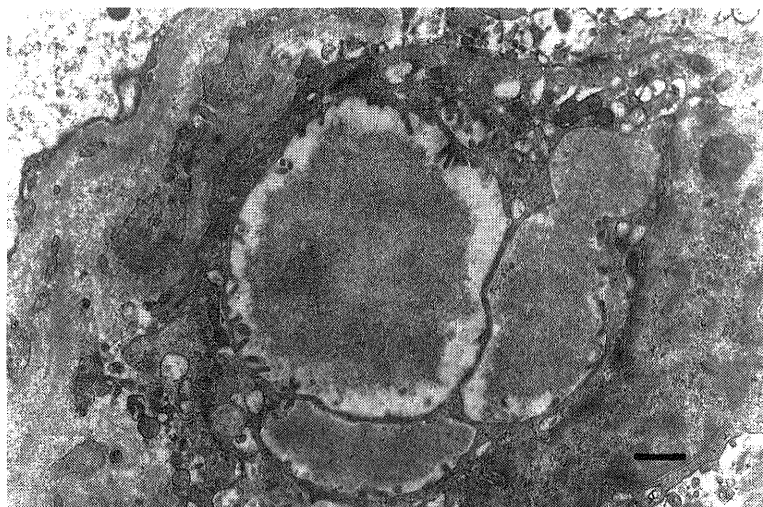


図1 封入体は腫瘍細胞の microcyst 内に形成され, 壁には microvilli が観察される. ( $\times 5,000$ , bar=1  $\mu\text{m}$ )

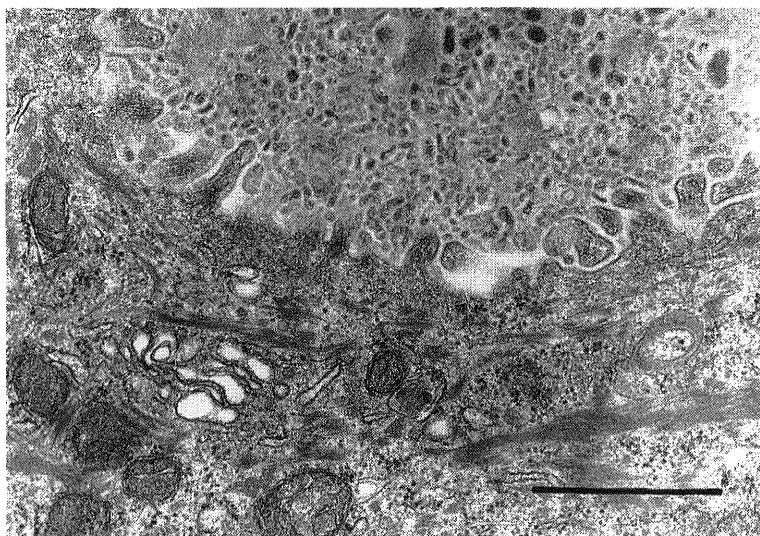


図2 封入体には electron dense granule が含まれ、細胞質内には tonofilament が見られる。(×13,000, bar=1 μm)

meningioma といえるのでしょうか？

〔解答〕

坐間 朗(群大脳外) 一定の報告は渉猟した限りではないのですが、hyaline inclusion body は HE 染色よりも PAS 染色で小さいものまで明瞭に検出されます。

Secretory meningioma の hyaline inclusion body を有する腫瘍細胞に関し、epithelial differentiation と分泌能力が議論されます。IgM 抗体陽性は分泌性に関係あると思われますが、詳細は今後検討すべきと考えます。

〔質問〕

中島 孝(群大第二病理) ① この腫瘍は多数の血管を含んでいます。これは組織学的特徴なのでしょうか？

② 腫瘍細胞核だけを見ると、甲状腺癌の核に似ているように思う。既往歴に甲状腺の benign adenoma の摘出手術を受けたとあるが、組織像はどのようなものであったか？

〔解答〕

坐間 朗(群大脳外) ① 髄膜腫は一般に血管に富みますが、本例は殊に血管が多く、文献上 pericyte 増殖例もあり (Alguacil-Garcia ら, 1986) 興味深く思っております。

② 甲状腺の benign adenoma とは関係ないものと思います。

封入体を有する腫瘍細胞は内腔面に大抵 microvilli がありますし、外表にも microvilli がみられます。封入体を有さない腫瘍細胞の外表の microvilli は多い場合と少ない場合があります。